

資料2

中長期展望で重要ないくつかの項目

第6回統計委員会と統計利用者との意見交換会 ～グローバル化が進展する中で 日本経済の中長期展望に必要な統計整備～

於 中央合同庁舎第4号館12階共用1208特別会議室
2012年2月16日(木)午後2時～3時

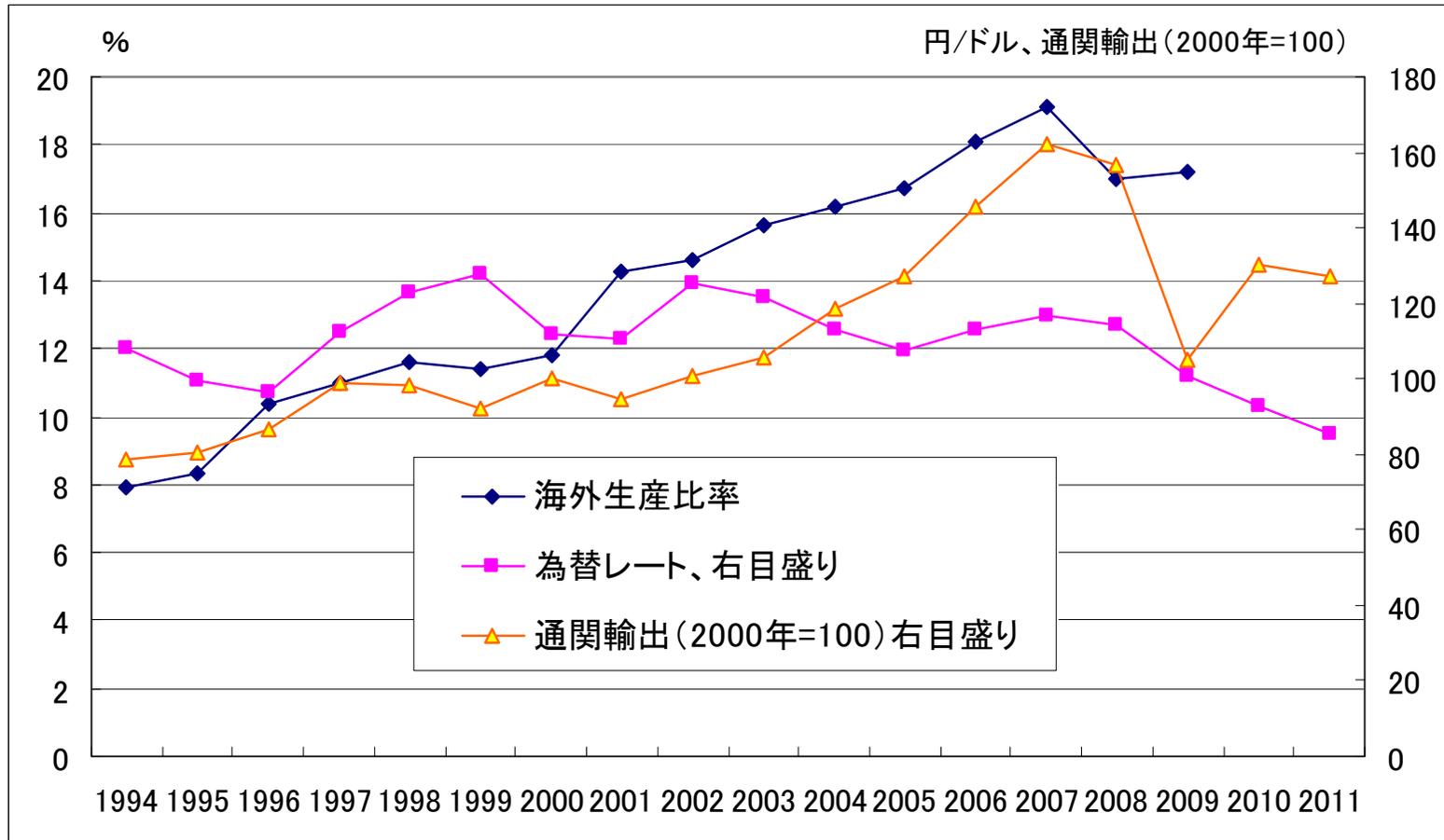
原田泰
株式会社大和総研顧問・東京財団上席研究員

目次

1. 海外生産と輸出は共に伸びてきたが今後は?
 2. 何を誰が輸出しているのか
 3. 格差とグローバルイゼーション
 4. 経常収支は各項目の動向で予測できるのか
 5. 経常収支と部門別純借入
- まとめ

1. 海外生産と輸出は共に伸びてきたが今後は？

為替レートと海外生産比率



(出所) 経済産業省「第39回 海外事業活動基本調査概要」

(注) 国内全法人企業ベースの海外生産比率

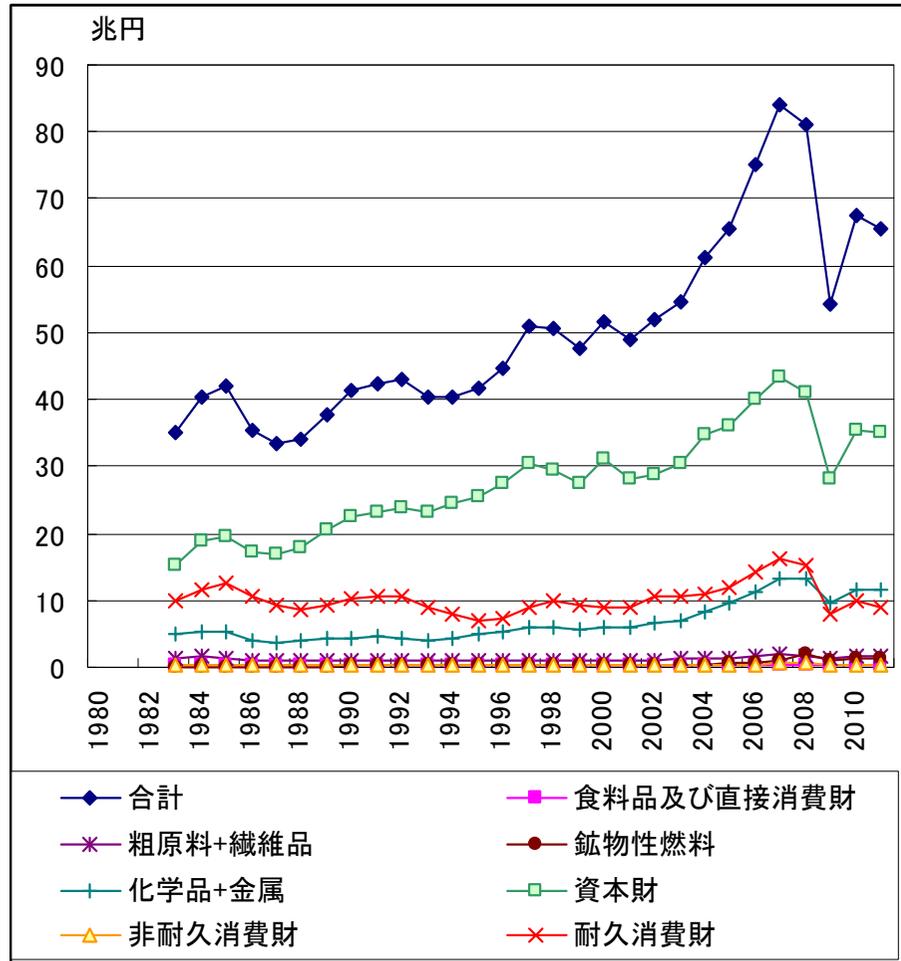
=現地法人(製造業)売上高/(現地法人(製造業)売上高+国内法人(製造業)売上高) × 100

海外生産にかかわる統計

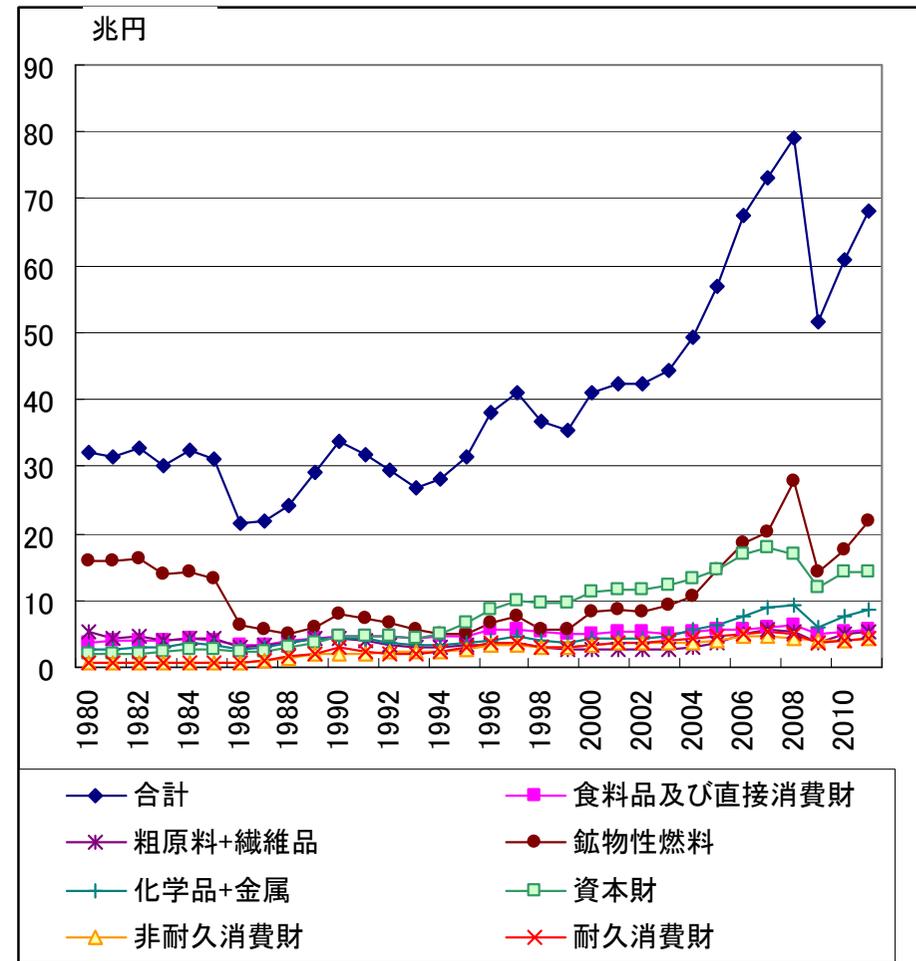
- ・ 財務省「対外及び対内直接投資状況」2004年度を最後に廃止、届け出であって実績ではない
- ・ 日本銀行「国際収支統計」資金的情報のみ。生産等はなし。個別企業は分からない
- ・ 経済産業省「海外事業活動基本調査」毎年実施、09年度実績を11年4月公表。現地法人の売上、生産、雇用、収益、投資など
経済産業省「企業活動基本調査」とマッチング可能
回収率高くない。母集団が分からないので連続できるかどうか不明
- ・ 東洋経済新報社「海外進出企業総覧」毎年実施、現地法人の資本金、従業員数、売上、収益、事業内容など。回収率高くない。
- ・ 共通に、サービスのアウトソーシングなどは分からない。最新状況も分からない

2. 何を誰が輸出しているのか

輸出の内訳



輸入の内訳



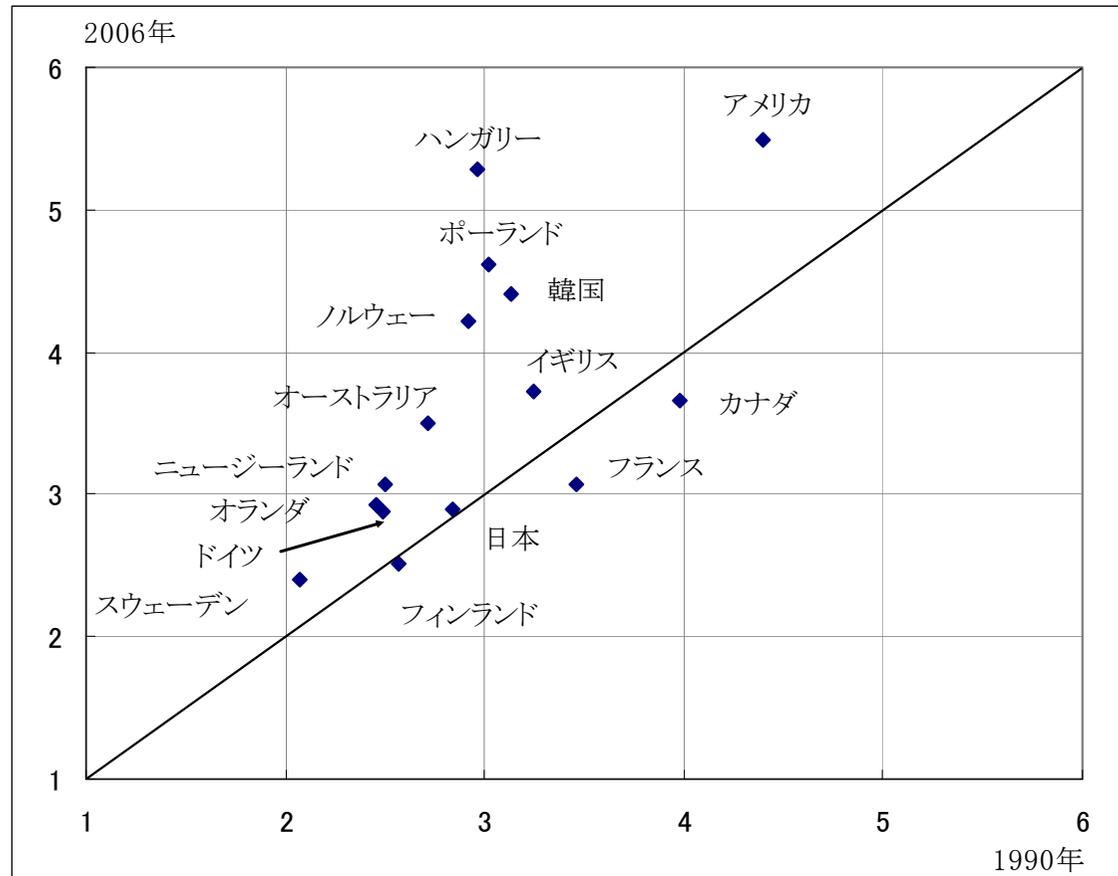
(出所) 財務省「貿易統計」

企業間取引の分からなさ

- ・ 何を貿易しているかは分かるが、誰が誰と貿易しているかは分からない
- ・ 中間財、資本財の増加
- ・ サービス貿易の中身は十分か
- ・ 工業材料、資本財の輸出が伸びているが企業内貿易か、企業外貿易か。企業内貿易ならトランスファー・プライシングの問題もあり
- ・ サプライチェーン～企業の競争力、危機管理能力に関するノウハウかもしれない～

3. 格差とグローバリゼーション

賃金格差(上位第20分位平均賃金/第10位十分位平均賃金)の変化
(1990年⇒2006年)



(出所) OECD Employment Database

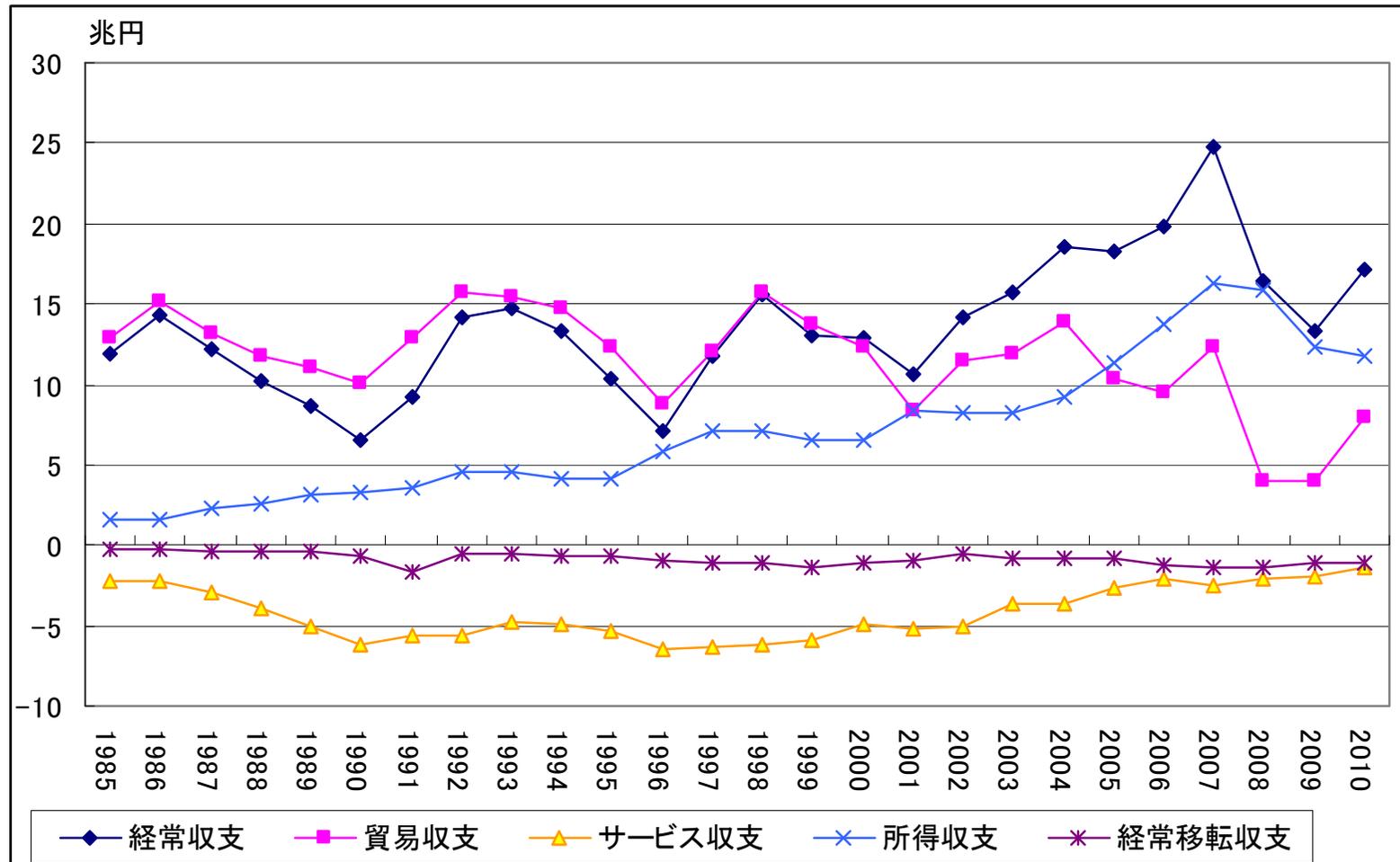
(注) ハンガリーは89年、韓国、ノルウェー、ポーランドは92年。オーストラリア、フランス、ドイツ、オランダは2005年、フィンランド、ノルウェー、ポーランド、スウェーデンは2004年。

産業と商品の競合

- ・ 企業の国際的ネットワークと雇用の問題
- ・ 輸出・輸入の商品と産業
- ・ サービスのアウトソーシング

4. 経常収支は各項目の動向で予測できるのか

経常収支内訳など



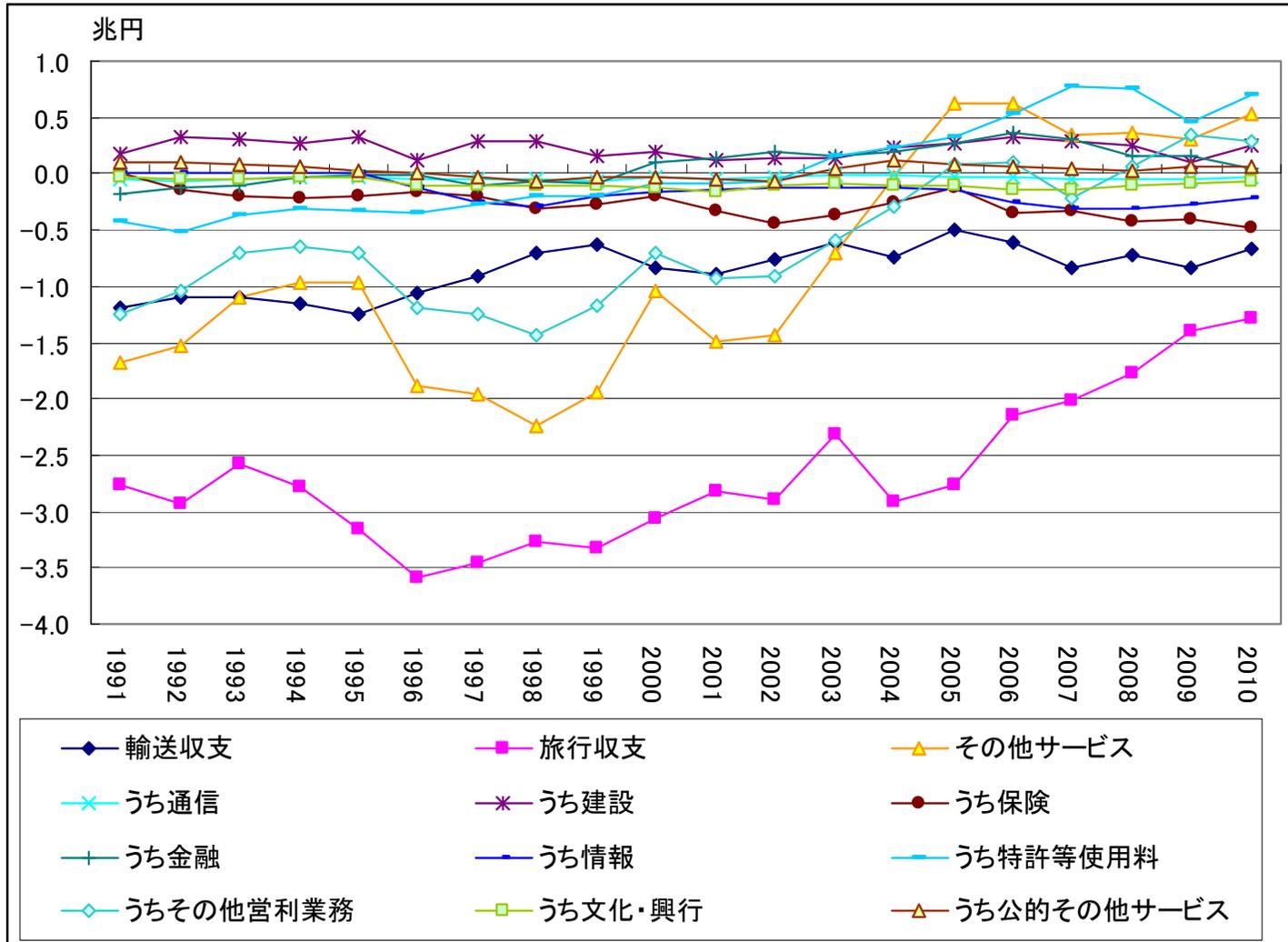
(出所) 財務省・日本銀行「国際収支」

経常収支の行方

- ・ 経常収支における所得収支の重要性
- ・ 所得収支、サービス収支の中身は十分か

サービス収支の内訳

サービス収支

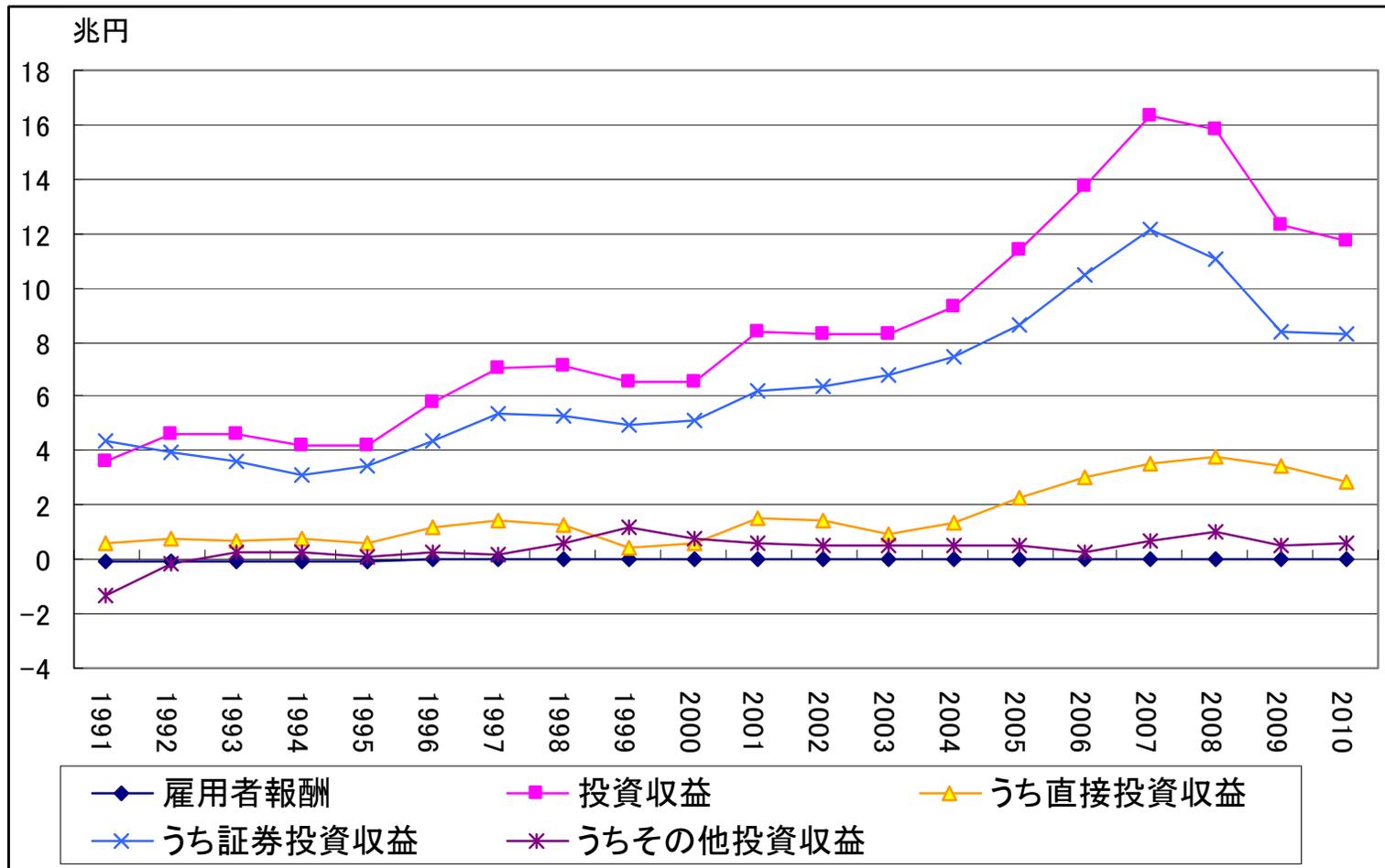


(出所) 財務省・日本銀行「国際収支」

(注) うち通信以下は、その他サービスの内訳

所得収支の内訳

所得収支

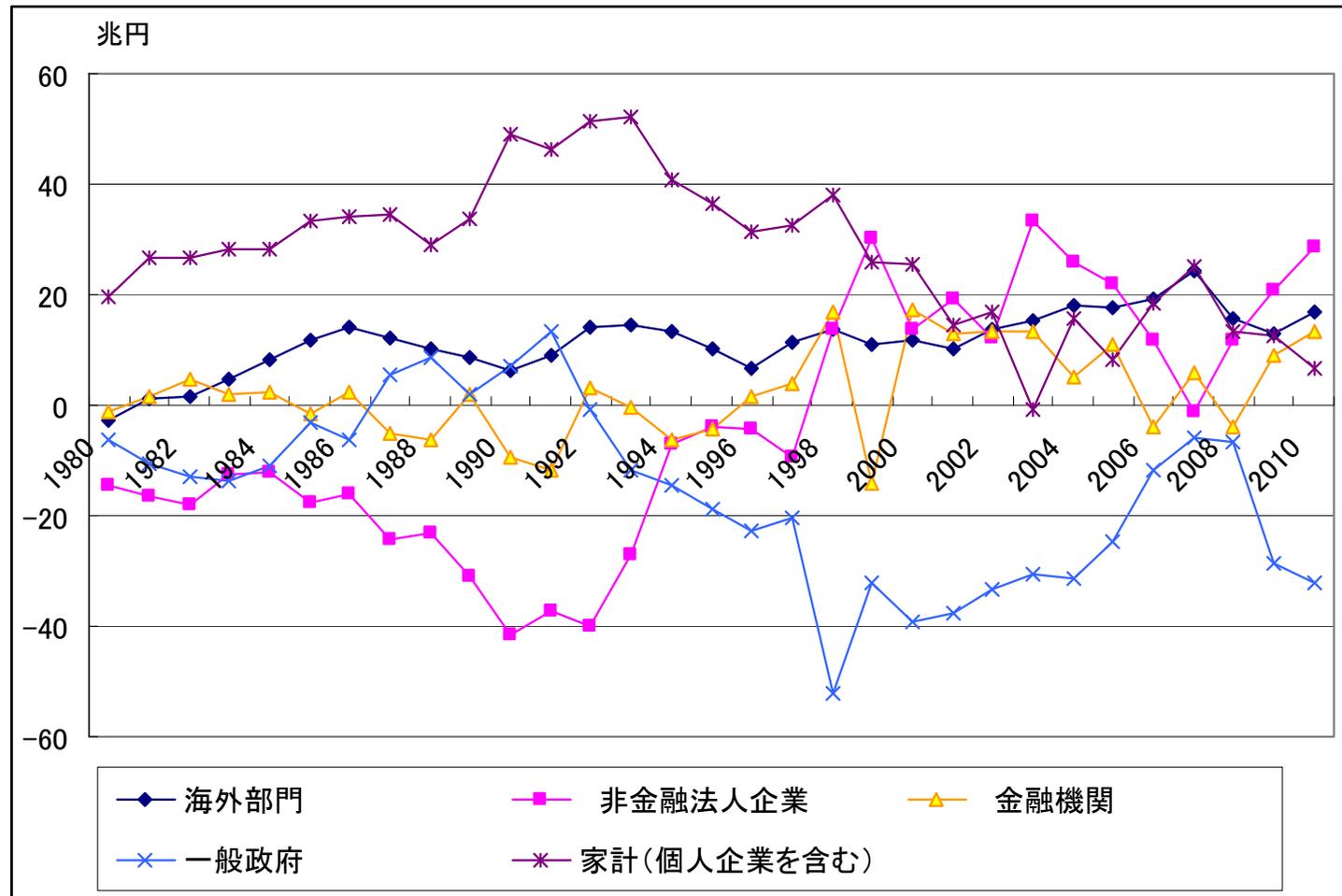


(出所) 財務省・日本銀行「国際収支」

(注) うち直接投資収益以下は、投資収益の内訳

5. 経常収支と部門別純借入

部門別純借入(貯蓄投資バランス)



(出所) 内閣府「国民経済計算」

(注) 対家計民間非営利団体は省略

貯蓄投資バランスの変化は何を意味しているか

- ・ 経常収支は財とサービスの貿易で予測すべきものか、貯蓄投資バランスで考えるべきものか
- ・ 家計貯蓄率の低下を企業部門が補っている
- ・ 政府の赤字は企業部門の貯蓄超過の裏返しであるかもしれない
- ・ 政府が赤字を拡大させないなら経常収支の黒字になる
- ・ この時雇用はどうなるのか
- ・ 経常収支の予測には個々の主体の貯蓄投資バランスを考えて家計、企業の個票データが重要なのか
- ・ 政府債務のファイナンスは不可能になるのか

まとめ

- ・ 海外生産にかかわる統計は不十分
- ・ 企業内取引か企業外取引か
- ・ サービス貿易の中身と雇用問題はどのように関係するのか
- ・ トランスファー・プライシングは深刻か
- ・ グローバリゼーションと格差
- ・ 企業の国際的ネットワークと雇用の問題
- ・ 製造品だけでなくサービスのアウトソーシングも問題
- ・ 経常収支の重要性と各項目の統計
- ・ 経常収支は各項目の動きで予測するべきものか
- ・ 貯蓄投資バランスで考えると何が言えるか
- ・ そのためには何が必要か



本資料記載の情報は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、記載された意見や予測等は作成時点のものであり今後予告なく変更されることがあります。

内容に関する一切の権利は(株)大和総研にあります。無断での複製・転載・転送等をご遠慮ください。